

長野 寝たきりなど278人利用施設

一〇一九年の台風19号では長野市の曲川が決壊し、高齢者らの施設を濁流が襲った。避難平野の海抜ゼロメートル地帯にはこうした施設が多く、水害への備えが必要だ。二月に名古屋市で開かれた施設の研究会から、どんな課題があるのかを探った。

19年台風19号

横井武昭 森川清志

迷わず前日避難 水害死ゼロ

「もう大丈夫」から転じて「高死んでしまうかも」に。研究会では、複合型医療・介護施設の経営者や野事業所（長野市）で所長を務める森佐知子さんなどが、台風19号の浸水被害について講演した。事業所には、雨で埋没の特養などがあり、当時は寝たきりの高齢者二百七十八人の利用者がいた。

Table with 2 columns: Date/Time and Event. Details the disaster response timeline from 10/11 to 12/12.

垂直避難「もう大丈夫」→堤防決壊・浸水→より上階へ



愛知医科大学災害医療研究センターの主催で開催された高齢者施設などの研修会＝3月14日、名古屋市中区で



愛知 海抜ゼロ施設 高い浸水リスク

津島市には、日本最大級の海抜ゼロメートル地帯が広がる。研究会では、愛知県のこの一帯に多い高齢者介護施設は高層や高波、洪水の浸水リスクが高いとの調査結果を、愛知医科大学災害医療研究センター（長久手市）が報告した。

来月から新コーナー始めよう！



Seeings

山間部の中小河川 急激に水位上昇

元名古屋市気象台長で気象研究員の高橋夫さんは、川の水位が急激に上がるのは、山間部から土石流や崖崩れが襲ってくる。山間部には砂災害防止も気象の変化があると指摘。

水位が急激に上がるのは避難判断も難しくなる。市は浸水前に避難指示を出せなかった。田代さんは行政に言われたら、地域に住む人々の特徴や本音の起り方を知りたい、いち早く行動する必要がある。

西日本豪雨（岐阜県関市）



CBCテレビによる動画はこちら